

科目名 (Eng)		日本語特論Ⅱ (Japanese Language Seminar Ⅱ)							
担当教員		高野 克宏							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		一般科目コミ	4	前期	選択	1	(30)	一般	A
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(F-1). (F-2). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6). JABEE基準Ⅰ(1)との対応：(f)								
授業の概要と方針		就職・大学編入学試験に出題された読解問題や言語問題に関する語彙・表現を学習する。							
到達目標		S P I 言語問題、国語常識問題、長文読解に対応できる言語能力を身に付ける。							
授業計画									
	週	授業項目		理解すべき内容			事前学習		
前期	1	同意語・反意語		同意語・反意語の組み合わせ			辞書等の使用方法を確認しておく		
	2	同音意義・同訓異字・多義語		同音異義・同訓異字・多義語の整理			普段から語彙を増やすように心がける		
	3	ことわざ・慣用句		ことわざ・慣用句の整理					
	4	言語問題模擬試験（１）		第１週から第３週までの内容に関連した模擬試験			前回までの授業内容を復習しておく		
	5	長文読解（１）		文章整序			新聞等の文章を注意深く読むよう心がける		
	6	長文読解（２）		空欄補充					
	7	前期中間試験							
	8	言語関連総合問題（１）		難読語ほか			日本語の語彙や文法に注意しながら文章を読むよう心がける		
	9	言語関連総合問題（２）		接続詞ほか					
	10	言語関連総合問題（３）		敬語ほか			敬語の仕組みについて復習しておく		
	11	言語関連総合問題（４）		敬語ほか					
	12	言語問題模擬試験（２）		第８週から第１１週までの内容に関連した模擬試験			前回までの授業内容を復習しておく		
	13	故事成語・四字熟語		漢語熟語とその意味			普段から語彙を増やすように心がける		
	14	長文読解（４）		主旨把握			評論的文章等を注意深く読むよう心がける		
	15	長文読解（５）		内容合致					
試験について		中間試験および期末試験を実施する。							
評価方法		定期試験７０％、小テストあるいは課題３０％で総合的に評価する。							
教科書		プリント教材							
参考書		国語辞典							
関連科目		日本語１・日本語２・日本語特論Ⅰ							
履修上の注意		模擬試験を行い、その結果を参考にして困難点や弱点となる事項を集中的に学ぶ。							